

風の萌

特定非営利活動法人(NPO)
在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク機関紙

第 035 号

2016 年 9 月 1 日

安心して子育てができ 老いても障がいがあっても 自分らしく暮らすことができる コミュニティーの創造



皆さま
奮ってご参加を!!

吉元 和浩 全国の集い IN 鹿児島 実行委員長
(みどり明星クリニック 院長)

鹿児島大会最新情報!

第 22 回 全国のつどい in 鹿児島の開催準備はお陰様で、本部理事の皆様をはじめ本会会員、またご後援の多くの皆様のご協力により漸次、終盤に近付いてきています。

2025 年問題、あるいは今後の日本にとって避けることのできない課題である超高齢化社会、少子化社会の到来を間近に控えて、その対応策の具体化として実施が全国をあげて声高に叫ばれている地域包括ケアシステムにおいても地域の特性に応じた「ご当地ケア」作り上げることが重要であり、「ご近所」が主役で「ご近所の力」が再び問われていると言えます。

そこで、本大会のテーマを『ご近所』が主役おひとりさまも人生 100 年～きばいやんせ!! ～と銘打って、「医療から介護へ」「病院・施設から地域へ」に象徴されるように、近未来に備えた「保健・医療・福祉」の具体的連携システム再構築を考えて深く学んで一緒に頑張りましょう! (「きばいやんせ」は鹿児島弁で「がんばりましょう」との意)。

初日は「人生 100 年・志と学びをもって生きよう」と呼びかける評論家の樋口恵子氏また、「おひとりさま」の著作も多い上野千鶴子氏を中心に基調シンポジウムに始まり、次いで本会の全国の

つどいにおける目玉でもある実践交流会において大いに盛り上がり頂き、そのまま初日最終プログラムの懇親会に多くの皆様が突入して頂けることを期待しております。

大会 2 日目は、工夫を凝らして(中には鹿児島らしさも入れて) 15 企画を計画しました。地域包括ケアシステムをはじめ、介護離れのための離職ゼロ、医療・介護の良質な人材確保、みんなで支える看取り、シルバーエイジのファッションショー、医師の居ない地域住民の暮らし等々です。2 日目午後には、なでしこ JAPAN 前監督の佐々木則夫氏に「目標達成へのプロセス」～医療介護人材のマンパワーを引き出す組織づくり～と題して特別講演をして頂きます。多くの関係各位の奮ってのご参加をお待ち申し上げています。よろしくお願い致します。



鹿児島大会の全容

今年も多彩な内容で進行させて頂き
事前配布予定の抄録集が当日配布に

第1日目／9月18日(日)



会場名	県民ホール	大ホール	中ホール	大研修室(第1)	大研修室(第2)
席数	590	500	220	108	108
9:00～	受付開始				
10:00～	【開会式】 開会宣言 吉元和浩 実行委員長 鹿児島県知事挨拶 会長挨拶 苛原 実 会長 鹿児島市長挨拶 大会長挨拶 吉井敦子 大会長 鹿児島県医師会会長挨拶				
	基調シンポジウム 「人生100年初代の心意気」 シンポジスト ・樋口恵子 (評論家) ・上野千鶴子 (社会学者) ・三浦公嗣 (医師・前厚生労働省老健局長) ・黒岩卓夫 (医師・医療法人萌会理事長) ・加倉秀章 (医師・医療法人春成会鶴木医院院長) ・吉井敦子(理) (社会福祉法人野の花会理事長)				
	県民ホールでの基調シンポジウムへのご参加をお待ちしています。				
12:30	休憩(15分)				
12:40～		ランチョンセミナー1 「増え続ける認知症や骨粗鬆症への対応を考える～転倒・骨折の予防による健康寿命の延長」 座長：吉元 和浩 (みどり明星クリニック院長) 演者：吉岩 あおい (大分大学医学部附属病院 総合内科総合診療科 診療教授) <共催> 第一三共株式会社	ランチョンセミナー2 特養での自立支援介護、そして在宅復帰の取組み 演者：齋藤 貴也 (社会福祉法人 正吉福祉会 社の風・上原特別養護老人ホーム正吉苑) <共催> 太陽化学株式会社	ランチョンセミナー3 「スカラシップ事業の発足と進捗について」 座長：浅沼裕子 (いらはら診療所事務長) 演者：水野文雄 (フィルピンネグロス島でNGO活動/ブータンのJICAプロジェクト/ネットワークス・スカラーシップ事業の発足に参加) <共催> いらはら診療所	ランチョンセミナー4 介護人材が定着する「良い組織」のポイント 厚生労働省委託調査結果より 座長：長縄伸幸(理) (特定医療法人フェニックス) 演者：飯塚以和夫 (株式会社メディヴァ シニアマネージャー) <共催> 特定医療法人フェニックス
13:45	休憩(15分)				
14:00～	市民公開講座① 今こそ「ご近所が主役」のまちづくり～地方創生を考える～ 座長：八田冷子 (鹿児島純心女子大学教授) 特別講演 「地方創生の基本方向」 山崎史郎 (前・内閣官房地方創生総括官) シンポジウム コーディネーター 山崎史郎 「ごちゃまぜのまち、交流人口がキーワード」 雄谷良成 (私が作る街「Share 金沢」理事長) 「地域デザイン」 山崎亮 (studio-L代表、東北芸術工科大学教授、慶応義塾大学特別招聘教授) 「人材育成」 袖井孝子 (お茶の水女子大学名誉教授 / シニア社会学会 会長 / 「地方創生へのまちづくり・ひとづくり」 編者)	実践交流会1 【在宅生活の継続】 理事座長：石田 一美 (秋櫻医院) 鹿児島座長：山崎 正博 (介護老人保健施設 アメニティ園分)	実践交流会2 【訪問&通所サービス】 理事座長：岡崎 和佳子 (有限会社 菜の花) 鹿児島座長：新 智哉 (介護老人保健施設 ラポール吉井)	実践交流会3 【緩和ケアと看取り】 理事座長：中嶋 啓子 (医療法人啓友会) 鹿児島座長：徳永 正義 (社会福祉法人山陵会 理事長)	実践交流会4 【人材育成・教育】 理事座長：長縄 伸幸 (特定医療法人 フェニックス) 鹿児島座長：大久保 義人 (みどり明星クリニック)
18:00	意見交換会				
18:30～	懇親会：城山観光ホテル				

趣旨

地域包括ケアの時代を迎え、地域も家族も大きく変わります。「人生100年・志と学びをもって生きよう」と呼びかける評論家・樋口恵子氏、「おひとりさま」の著書も多い、上野千鶴子氏からも「地域包括ケアは独居世帯を救えるか」などの提言もいただきながら、本会からも地域を支えてきた医師・福祉・介護に携わった人たちが加わり、本人・地域の皆さんが国の目指す地域包括ケアをより深く理解されるきっかけになるよう、人生百年丸の船出にふさわしい鹿児島大会にしたいと願っています。



樋口恵子さんからの
お手紙

実行委員長、とても素敵なお似合いです。私の役目はすべておまかせです。楽しいトークになるとと思います。お互いの人生100年ですね

樋口恵子



上野千鶴子さんからの
お手紙

昨年のイベントのご案内拝受。人生100年初代と…言われると、お二人のお姉様方に挟まれて私などひよっ子に思えてきます。どんな展開になるか楽しみです。

上野千鶴子

ます。鹿児島らしい問題提起も多く行われます。

なった関係で、こちらで紹介させていただきます。(抄録集プログラムより流用)

2016.8.31現在

大研修室 (第3)	大研修室 (第4)	中研修室 (第1)	中研修室 (第2)	小研修室 (第2)
108	108	54	63	45
県民ホールでの基調シンポジウムへのご参加をお待ちしています。				
休憩 (15分)				
ランチョンセミナー 5 熟練介護者の気づきを学ぶ ～介護分野における 新たな ICT 活用の試み～ 演者：神成淳司 (慶応義塾大学准教授) <共催> 社会福祉法人こうほうえん	ランチョンセミナー 6 日新公いろは歌と 明治維新 座長：多湖光宗 (理) (ウエルネス医療クリニック) 演者：原口 泉 (鹿児島県立図書館館長) <共催> ウエルネス医療クリニック	ランチョンセミナー 7 医療連携と包括ケアの実情に 合わせた ICT 導入を考える ～東日本震災復興支援の事例 と技術的活用事例を紹介～ 演者：佐藤肇 (富士ゼロックス株式会社 ヘルスケア営業部) <共催> 富士ゼロックス鹿児島 (株)	ランチョンセミナー 8 青藍会グループ・ みらいを地域と共に 座長：阿武義人 (青藍会グループ 代表) 演者：阿武幸美 (青藍会グループ 副代表) <共催> 医療法人社団 青藍会 社会福祉法人 青藍会	ランチョンセミナー 9 施設でできる在宅医療と看取り ～てびきと研修で介護職員の 不安解消！ 座長：下田郷子 (ホームホスピスモリの家) 演者：小倉和也 (理) (はちのへファミリー クリニック院長) <共催> はちのへファミリー クリニック
休憩 (15分)				
実践交流会 5 【地域で支える 認知症ケア】 理事座長： 金田 弘子 (医療法人社団もりもと) 鹿児島座長： 常見 裕之 (認知症のひとと家族の会 鹿児島県支部 代表)	実践交流会 6 【口腔ケアと 栄養管理】 理事座長： 大川 延也 (大川歯科医院) 鹿児島座長： 福原 和人 (鹿児島県歯科医師会 理事)	実践交流会 7 【これからの 地域包括ケア】 理事座長： 大澤 誠 (医療法人あづま会) 鹿児島座長： 黒岩 尚文 (全国小規模多機能型 事業者連絡会 副会長)	実践交流会 8 【新しい試み】 理事座長： 福田 善晴 (医療法人 大和会) 鹿児島座長： 松村 伸一 (特別養護老人ホーム はっぴー園 副理事長)	実践交流会 9 【薬と生活】 理事座長： 金井 秀樹 (やまと調剤薬局) 鹿児島座長： 沼田 真由美 (鹿児島県薬剤師会常務理事)

実践交流会 1-9 までの詳細は、p6-7
に掲載しました。



第2日目／9月19日(月・祝)

会場名	県民ホール	大ホール	中ホール	大研修室 (第1)	大研修室 (第2)
席数	590	500	220	108	108
8:30～	NPO 総会				
9:00～	受付開始				
9:30～	シンポジウム① 市民公開講座② 「ご近所」が主役：地域包括ケアシステムへの取り組み 座長：吉元和浩 (みどり明星クリニック院長) シンポジスト 唐澤剛 (内閣官庁 地方創生総括官) 江藤修 (大分県梓井市福祉推進課長) 瀬口和浩 (株式会社ティーエスアイ 代表取締役) 的場公男 (的場クリニック院長 鹿屋市) 徳留浩二 (鹿屋地域包括支援センター所長)	シンポジウム② 介護の為に離職ゼロを目指して 座長：堀仁美 (保険局保険課課長補佐 / 前厚生労働省福祉人材確保対策室室長補佐) シンポジスト 徳田雄人 (株式会社スマート エイジング 代表取締役) 1 介護と仕事の両立 概要と対策：徳田雄人 2 実際の体験者のお話 杉本夫妻 (認知症支援カフェ あみけるひろ代表) 3 「介護と仕事の両立ができる社会へ それができることは？」 グループワーク： 徳田雄人	シンポジウム③ 医療・介護・保育人材枯渇時代を突破する戦略 座長：秋山由美子 (社会福祉研究所研究員 / 前東京都世田谷区副区長) コメンテーター：苛原 実(理) (いらはら診療所 院長) シンポジスト：香取 照幸 (前厚生労働省雇用均等・児童家庭局長) 古木 圭介 (前肥後おれんじ鉄道社長) 草場鉄周(理) (北海道家庭医療学センター理事長 / 本輪西ファミリークリニック院長 / 日本プライマリ・ケア連合学会副理事長) 介護現場より・介護士(イクメン介護男子登場) 栗谷信弘(鳥取こうほうえん) 村添拓美(アルテンハイム鹿児島)	理事会企画 地域包括ケアの実現に向けて、今、わたしたちができること 座長：小倉和也(理) (はちのへファミリークリニック院長) 桑原由次(理) シンポジスト 岡崎和佳子(理) (有限会社 菜の花) 金井秀樹(理) (有限会社 ゆきぐにメディックス なのはな調剤薬局) 長 純一(理) (石巻市立病院開成仮診療所・石巻市包括ケアセンター) 西嶋公子(理) (医療法人社団 公明会 西嶋医院) 福田善晴(理) (大和会グループ)	シンポジウム④ 在宅生活をサポートする口腔ケア 座長：福原和人 (鹿児島県歯科医師会 理事) シンポジスト 中村康典 (独立行政法人 鹿児島医療センター 歯科口腔外科) 貞村淳一郎 (さだむら歯科医院 院長) 西恭宏 (鹿児島大学大学院 歯医学総合研究科 先進治療科学専攻 顎顔面機能再建学講座 口腔顎顔面補綴学分野 (有床義歯補綴学)) 太田博見 (医療法人仁慈会 理事長・太田歯科医院 院長)
12:00	休憩 (15分)				
12:15～13:15	ファッションショー MAKEOVER MAGIC 2016in 鹿児島 ～60歳からその人の美しさが輝く～ ヘアスタイリスト：松尾俊二	ランチョンセミナー 10 ノロに見舞われて 座長：徳永 正義 (社会福祉法人山陵会理事長) 演者：宮路 重和 (医療法人春光会・社会福祉法人春光会 理事長) <共催> 雅叙園観光 (株) エヌ・ビー・エンタープライズ	シンポジウム⑧ 新しい介護方法 ノーリフトケア ～全国に作るうノーリフトケアコミュニティモデル～ 座長：徳田英弘 (ファミリークリニックネリヤ 院長 / 鹿児島大学医学部臨床教授) 和田忠志 (医療法人社団実幸会いらはら診療所 在宅医療部長)	ランチョンセミナー 11 職種別交流会 ～本音で語ろう～ 座長：藤村 淳子(理) (社会福祉法人・淳淳昇) 演者：中堀千賀子 (医療法人あいち診療会) 藤本隆浩 (医療法人あいち診療会) <共催> 医療法人 あいち診療会	ランチョンセミナー 12 健康寿命延伸のための歯科医療 オラルフレールと介護予防 座長：大川 延也 (大川歯科医院) 演者：加藤 武彦 (加藤歯科医院) <共催> 大川歯科医院
13:15	休憩 (15分)				
13:30～	特別講演 「目標達成へのプロセス」 ～医療介護人材のマンパワーを引き出す組織作り～ 佐々木 則夫氏 (サッカー指導者、サッカー日本女子代表前監督)	シンポジウム⑦ 地域を支える・見守る社会貢献活動 座長：浜田博 (社会福祉法人紅徳会 経営戦略本部氏) シンポジスト： 丸田尚永 (みどりの園) 清水健史 (医療法人愛誠会)	講師：保田淳子 (日本ノーリフト協会 代表)	シンポジウム⑧ 部会企画 「アジア介護実践交流会」 座長：藤村淳子(理) 桑原由次(理) 報告者 Bergado Gretchen Satorre ベルガド・グレッツェン・サトレ (フィリピン：医療法人善常会 介護福祉士) 釋明瑛 (内藤 美咲) シャク メイエイ (台湾：医療法人あいち診療会) パージニ・アンコン (フィリピン：特養みどりの園)	シンポジウム⑨ 医師の居ない地域住民の暮らし 座長：黒岩尚文 (全国小規模多機能型 事業者連絡会 副会長) オブザーバー 森田洋之 (医師) (元夕張市立診療所 院長 南日本ヘルスリサーチラボ 代表) 「鹿児島県鹿児島郡 十島村での取組み」 行政：十島村役場 保健師 本砥貴子 事業所：小規模多機能ホームたちから 管理者 米倉優介 「鹿児島県肝付郡 肝付町での取組み」 行政：肝付町役場 保健師 能勢圭子 事業所：社会福祉法人 岸良福祉サービスきしら 管理者 平田英子
14:30					
15:00	閉会式				

趣旨

4人に1人が高齢者という超高齢化社会の今日、介護人材のニーズはますます高まっています。他の職種でも人手不足は深刻ですが、介護職は現実とは違うイメージが社会に浸透してしまい、さらに困難な状況にあります。しかし、現場では仕事に価値を見出し、はつらつとひたむきに頑張る若い力があり、私たちはそれを讃え科学的介護を実践し、また介護ロボットを使いこなせる時代の先端をゆくテクノロジーの育成環境を整え、クリエイティブな介護を実践するための努力を重ねています。今回は医療・介護人材におけるマンパワーを引き出す佐々木流の組織作りへのプロセスを学びます。



佐々木 則夫さま主なプロフィール

サッカー指導者
 1958年5月24日 山形県生まれ さいたま市在住
 帝京高校・明治大学を経てNTT関東サッカー部で選手として活躍。
 2011年、FIFA女子ワールドカップ ドイツ2011で日本サッカー初の世界一へ導く。
 2012年、ロンドンオリンピック 銀メダル獲得 (日本サッカー史上初)
 2014年、AFC女子アジアカップ 優勝
 2015年、FIFA女子ワールドカップ カナダ2015 準優勝
 著書に「なでしこ力」講談社、「なでしこ力 次へ」講談社
 「勝つ組織」(佐々木則夫 山本昌邦)角川書店
 ホームページ：佐々木則夫オフィシャルサイトhttp://junon.co.jp

2016.8.31現在

大研修室 (第3)	大研修室 (第4)	中研修室 (第1)	中研修室 (第2)	小研修室 (第2)
108	108	54	63	45
シンポジウム⑤ 九州各地の取り組みの連携ー九州在宅医療推進フォーラムを通して 座長：太田秀樹(理) (医療法人アスス理事長) 中野一司 (ナカノ在宅医療クリニック) シンポジスト 二ノ坂保喜 (にのさかクリニック 福岡 医師) 白髭 豊 (福岡内科消化器科医院 長崎 医師) 満岡 聡 (福岡内科消化器科医院 佐賀 医師) 田島和周 (田島医院 熊本 医師) 五反田満幸 (五反田内科クリニック 鹿児島 医師) 山岡憲夫 (やまおか在宅クリニック 大分 医師) 外山博一 (外山内科神経内科医院 宮崎 医師) 泰川恵吾 (ドクターゴン診療所 沖縄 医師)	シンポジウム⑥ 【看取り】 みんなで支える看取り 日頃の思いを医師と語ろう 座長：原田ケイ子 (鹿児島県看護協会専務理事) 講師： 新田國夫(理) (新田クリニック 院長) フロアの方との意見交換会	講演① 「在宅療養支援診療所の仕組みづくりと経営改善方法」 座長：吉永隆行(理) (株式会社キャナルコンピュータープリント) 講師：大石佳能子(理) (株式会社メディヴァ代表取締役) 荒木庸輔 (株式会社メディヴァ シニア コンサルタント) 第一部：在宅療養支援診療所を取り巻く現状と「仕組み」づくりー医療法人社団プラタナスの例よりー 大石佳能子(理) (株式会社メディヴァ代表取締役) 第二部：在宅療養支援診療所経営の課題と改善方法ーコンサルタントの視点よりー 荒木庸輔 (株式会社メディヴァ シニア コンサルタント)	講演② 特別企画 「熊本地震に学ぶ、事業継続に必要なこと」 座長：松井光一郎 (鹿児島県老健協防対策委員長) 講師： 鴻江圭子 (社会福祉法人杏風会施設長)	講演③ 今話題の 夢のみずうみ村とは 藤原 茂 (夢のみずうみ村 代表)
休憩 (15 分)				
ランチョンセミナー 13 地域包括ケアシステムの立ち上げ方と進捗評価 (横浜市青葉区等の事例から) 座長：大澤 誠 (医療法人あづま会) 演者：大石佳能子 (株式会社メディヴァ代表取締役) <共催> 株式会社メディヴァ	ランチョンセミナー 14 関西から発信ー笑いと介護 座長：辻 博司 (医療法人啓友会) 演者： 福嶋二郎とその仲間 <共催> 医療法人 啓友会	ランチョンセミナー 15 「認知症を含む高齢者患者の在宅医療の現状と取り組み」 座長：吉元 和浩 (みどり明星クリニック 院長) 演者：川上 秀一 (医療法人明輝会 理事長 内村川上内科 院長) <共催> エーザイ株式会社	ランチョンセミナー 16 超高齢化社会を救う 新たな介護福祉士の誕生 座長：石田一美 (秋櫻医院) 演者：植田裕太郎 (聖隷クリストファー大学 介護福祉専門学校) <共催> 秋櫻医院	ランチョンセミナー 17 介護の未来を考える 介護ロボット イクメン介護男子が実演します 座長：新 智哉 (介護老人保健施設 ラポール吉井) <共催> アルデンハイムリハビリテーションクリニック本町
休憩 (15 分)				
シンポジウム⑩ 在宅における小児医療 「小児の在宅療養支援の課題と今後の取り組みについて」 座長：奥 章三 (鹿児島県こども病院 院長) シンポジスト： 藤山りか (五反田内科クリニック医師) 有馬夕子 (訪問看護ステーションめばえ管理者) 斉野洋介 (特定相談支援事業所・障がい児相談支援事業所 エマールアリス相談支援専門員) 一瀬麻有美 (こどもヘルパーりんりん管理者) 山下 功 (鹿児島市健康福祉局福祉部障害福祉課自立支援係係長) 濱上知美 (保護者)				シンポジウム⑪ 障がい者たちのいま ～自立生活？結婚する？～ 座長：黒岩秋子 (社会福祉法人桐鈴会 理事長) シンポジスト： 中村佳奈 (一般社団法人あきの会 療養介護事業所 虹の家施設長) 小林裕子 (ケアホームおひさま、グループホームひまわり管理者) 片桐康雄 (ケアハウス鈴懸厨房 管理栄養士) 富田直樹 (共有清掃助手) 鈴木智子 (ケアハウス鈴懸 施設長)



企画⑫部会企画

アジアの諸国は少子高齢化の大きなうねりが訪れようとしています。福祉・医療の抱える課題をアジアの全体の課題としてとらえ、日本側の質の向上、アジアの質の向上に寄与していくことが求められています。

この企画については以下の事項を目標としています

- ① 日本とアジアの友好の一助となる
- ② 各国の高齢化対応のレベルが向上し、被保険者、家族、地域に貢献できる
- ③ 各国の介護保険事業の保険者に対してもより良き政策の背景となる
- ④ 日本側も、経験してきた知識や技術の検証と次の発展が望める

理事会企画

鹿児島大会の理事会企画は「地域包括ケアの実現に向けて、今わたしたちができること」をテーマに実施することが決定しています。介護保険が市町村に丸投げされ、地域によってサービスに差が出ることが予想される中、各地域の活動を集約して制度に対する提案を行っていくことこそ全国的なネットワークを有する当法人の役割であると思われます。

全国大会の一企画で終わらせず、「地域包括ケアの実現に向けて、いまネットワークにできること」を模索し取り組んでいくことを本部事業として実施していきます。全国大会の理事会企画はあくまで、その集大成を発表する場としての位置付けです。

実践交流会・演題内容が決定いたしました

実践交流会の演題が決定いたしました。昨年を大きく超える97件の登録を頂きました。

ご協力頂き本当にありがとうございました。

のマーカ一部分の方がフォローアップ対象者です。

01. 在宅生活あ

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
鶴岡慎二郎	社会福祉法人結徳会 介護老人福祉施設 みどりの園	理学療法士	在宅医療における訪問リハビリの在り方～地域包括ケアの中での生活行為向上マネジメント～
吉永 満子	たねだ内科	看護師	有床診療所での在宅復帰支援の取り組み ～炭坑節を踊ろう～
瀬戸口 司	社会福祉法人 山陵会 特別養護老人ホーム フラワーホーム	園長	「隠居長屋ろんち」での茶の間活動
徳永美和子	社会福祉法人 山陵会 特別養護老人ホーム フラワーホーム	介護職	ひとり娘の遠距離介護～介護体験記 ザ・KAIGO～
大竹 功剛	医療法人あいち診療会	言語聴覚士	多職種連携による摂食嚥下アプローチの一例
灰瀬 美和	医療法人坂梨ハート会 さかなしハートクリニック 在宅医療部	介護支援専門員	夫の介護を失ったケースの在宅に向けての経過について
中野 翔太	社会福祉法人 野の花会 老人保健施設 ラポール吉井 デイケア	理学療法士	365 日朝食から夕食までの取り組み～ 20 年間の歩み～
三嶋 泰之	医療法人社団佐倉の風 さくら風の持病診療所	医師	パルン、抜いてみませんか？
金堂美和子	医療法人エイチ・シー・ユー たけとみクリニック	看護師	高齢者ストーマ管理の難渋事例
河野 恵子	介護老人保健施設洛西九いゆうの里		認知症ご夫婦の在宅復帰を目指して…
吉村 和也	株式会社メディヴァ		在宅医療における日中および夜間の往診頻度に寄与する要因の分析 (その1)
吉村 和也	株式会社メディヴァ		在宅医療における日中および夜間の往診頻度に寄与する要因の分析 (その2 非がん療養患者)

02. 訪問&通所サービス

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
阿部日向子	医療法人社団 いでした内科・神経内科クリニック	社会福祉士	通所リハビリテーションにおける書類整理の効率化
金子隆司	社会福祉法人 幸済会 高齢者グループホーム 三幸の園	管理者	共用型デイサービス現状と課題
河野光男	社会福祉法人 青藍会 ハートホーム南山口 デイサービスセンター	介護福祉士	歩行特化デイサービスの改善事例
岡村優利花	医療法人社団 いでした内科・神経内科クリニック	介護職員	通所リハビリテーションにおける腹式呼吸併用レッドコード・エクササイズの効果について
松田真奈美	医療法人社団 いでした内科・神経内科クリニック	認定心理士	ヨガと笑いヨガの効果について
川畑 勝	社会福祉法人 野の花会 夢のみずうみ村 アルテンハイムデイサービスセンター	理学療法士	主体的な活動を促す夢のみずうみ村の取り組み～高齢者の絵画活動の効果と一考察～
小待留智浩	社会福祉法人結徳会 デイサービスセンターみどりの園	介護福祉士	選べるデイ・アクティビティの取り組み～集団レクから、選べるレクへ～
和田康一	デイサービスセンター おらんくの緑側	管理者	軽度利用者の課題に対する取組み・実践例～デスタップの汗と涙の対応の軌跡～
伊藤京香	特定医療法人フェニックス デイサービス ComDo2	健康運動実践指導者	すべての人に居場所と出番をつくる～通所サービスのさらなる進化を求めて～
矢量みづほ	医療法人社団 いでした内科・神経内科クリニック	認定心理士	デイケア職員との連絡ノートのやりとりが主介護者に与える影響
呉屋政佳	医療法人あいち診療会 のなみデイケア	作業療法士	同じ在宅？ 訪問と通所！～「デイケア」ご自宅での生活との繋がりについて～
竹村真一	医療法人啓友会 介護老人保健施設洛西九いゆうの里		老健退所後の独居生活維持の支援 ～R 4システムを活用して～
吉水あけみ	社会福祉法人結徳会 訪問介護事業所 みどりの園	サービス提供責任者	老老介護を支えるヘルパーの役割～夫婦二人でいつまでも暮らしたい～
今村太泉	医療法人坂梨ハート会 さかなしハートクリニック 在宅医療部	理学療法士	H28 熊本地震被災の経験から一介護サービス提供困難時に際して、訪問リハビリの取り組み～

03. 緩和ケアと看取り

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
万福千鶴	社会福祉法人結徳会 みどり明星クリニック	看護師	最期まで豊で～在宅での看取り 家族・患者の在り方～
三木次郎	三木歯科医院	歯科医師	緩和ケアとしての口腔管理～医科歯科協働によるがん末期 13 症例の経験を通して～
野崎慎也	社会福祉法人 山陵会 小規模多機能ホームふもとの家	管理者	小規模多機能ホームにおける看取りについて
徳永明美	社会福祉法人 山陵会 特別養護老人ホームフラワーホーム	看護師	特養での看取り ～新たな試み～
小林浩雄	医療法人社団都会グループホームほっこり庵	介護職	終末期の不安に寄り添うケア
有馬儀子	医療法人社団実幸会 ユーカリデイサービス酒井根	介護士	デイサービスが看取りの場？～デイサービスと訪問看護ステーションの連携
仲山弘美	山崎在宅クリニック	看護師	疼痛コントロール、本人、家族の心のケアに難渋し、在宅緩和ケアチームの必要性を実感した症例
黒木みほこ	坂梨ハートクリニック	看護師	食道癌患者の看取りを経験して
斎藤美由紀	社会福祉法人青藍会 在宅医療支援センターハートホーム新山口 訪問看護ステーション	看護師	在宅での看取りの現状と今後の課題
西澤文恵	台東区社会福祉事業団 ケアマネジメントセンターあさくさ	主任介護 支援専門員	多職種連携緩和ケア啓発のための、浅草かんわネットワーク研究会の取り組み～ ACP 研修会での意識調査より～
吉澤あずみ	医療法人あづま会 グループホームおおいど	介護福祉士	入居者と家族をつなぐ支援
徳田千登勢	医療法人ネリヤ ファミリークリニックネリヤ	看護師	終末期にあることを患者さんやご家族が受け容れられない中で、自分らしく生き残るための訪問看護師の支援
笠口 淳	共生ホーム よかあんべ	管理者	その人らしく最期まで生き残る暮らしを支援する～ハスミさんとことゑさんの最期から学んだこと～
前田晴香	グループホーム あもり	介護支援専門員	グループホームあもりにおける今までの看取りと今後について

04. 人材育成・教育

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
島川理英	生活介護サービス株式会社	介護支援専門員	エルダーメンター制度を導入した1年の振り返り～介護職の早期離職を予防したい！！～
佐藤祐紀	社会福祉法人 野の花会 アルテンハイム鹿児島	事務員	集まり・つながり・育つ採用～人材確保プロジェクト・時代にふさわしく意識を変えよう～
浅野智美	医療法人社団都会 ホームヘルプステーションひまわり	介護職	訪問介護を支える人材の確保について～ 仕事と家庭を両立させる職場作り ～
井敬 司	坂梨ハートクリニック 看護部	介護士	熊本地震を経験してマニュアル改善
吉田 理	特定医療法人フェニックス	事務職	人財力から組織力へ、組織力から地域力へ。～新たな多職種協働に向けたプロフェッショナル育成を目指して～
小倉麻希	医療法人春成会 介護老人保健施設アメニティ国分	支援相談員	地域の先輩方のお力拝借～シニア層とワークシェアの試み 始動～
上園卓哉	社会福祉法人第一会	理学療法士	出逢いと「つながり」をデザインする！ ～全員参加型の人材戦略～

実りある内容とするべく座長をはじめとするスタッフ一同、準備させて頂きます。
 カテゴリーについては一部調整させて頂きました。
 発表の順番は座長の希望により変更する場合がありますので、ホームページ、もしくは
 当日の会場でご確認願います。

2016.8.28現在

05. 地域で支える認知症ケア

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
西川あけみ	社会福祉法人結徳会 輝北在宅介護総合センター	介護支援専門員	地域で支える認知症ケア～居宅介護事業所としてできること～
上原悠矢	社会福祉法人 山陵会 特別介護老人ホーム フラワーホーム	介護福祉士	小規模多機能施設における地域との関わり
齊藤匠真	社会医療法人北斗 北斗病院 言語聴覚科	臨床心理士	当院外来「記憶力低下」受診者の実態からみた認知症診療の問題
小浦幸作	医療法人啓友会 グループホームめぐみ	介護士	グループホームでの「ユミニチュド」へのとりくみ ～みんなで笑顔になろう～
石津公基	有限会社あんのメディカル ハートホーム小郡 脳活性リハビリ	介護福祉士	農業デイサービスとしての取り組みについて
小林 翔	有限会社 ティー・エム・メディカルサービス 介護保険事業所てらど	介護職	メディア・セラピーの試み ～共感、そして関係性の構築へ～
安里咲乃	社会福祉法人結徳会 グループホーム コーボラスいちのりの郷	介護士	役割から生まれる笑顔～小さなグループホームだからこそ、大きな輝きを～

06. 口腔ケアと栄養管理

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
浜田沙織	社会福祉法人結徳会 介護老人福祉施設 みどりの園	歯科衛生士	口から食べ続けるためのオーラルマネジメント～食べることは生きる事～
池崎輝美	社会福祉法人結徳会 介護老人福祉施設 みどりの園	管理栄養士	イキイキとした食生活のために～楽しい、美味しい、嬉しいの刺激～
藤田美香	社会福祉法人 山陵会 特別介護老人ホーム フラワーホーム	管理栄養士	特養ユニットでの調理 ー入居者と共に歩みたいー
田中由美	医療法人 社団 都会 渡辺西宮茂診療所 ホームヘルプステーション であい	ホームヘルパー	訪問介護職員が高齢者の食に貢献できることは？
原田亜紀	医療法人啓友会 啓友クリニック	管理栄養士	これからの管理栄養士の役割～管理栄養士業務からみてくること～
永田さゆり	社会福祉法人 青藍会 特別介護老人ホームハートホーム宮野	介護福祉士	口腔機能維持管理加算導入後の取り組み～口腔ケアを学ぶことによる意識の向上～
古川慎太郎	社会福祉法人 野の花会 老人保健施設 ラポール吉井	理学療法士	運動後 30 分以内の BCAA 補給による効果～リハビリむせりによる ADL 向上への近道～
水野敏江	医療法人 あいち診療会 のなみけ訪問看護ステーション	看護師	在宅を支える在宅栄養管理の実践に向けて

07. これからの地域包括ケア

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
丸田尚永	社会福祉法人結徳会 おおすみ日輪館 (小規模多機能ホーム)	介護支援専門員	小規模多機能事業所における看護師の役割～地域に愛される看護師を目指して～
植村貴子	社会福祉法人結徳会 介護老人福祉施設 みどりの園	総務課長	地域交流が生む地域の安心安全～地域貢献活動を通して～
佐々木穂史	医療法人社団 実幸会 いはら診療所	ケースワーカー	在宅医療・介護連携に関する相談窓口業務の報告
石原弘子	医療法人 あいち診療会 看護小規模多機能型居宅介護事業所 憩いの庄	ケアマネージャー	看護小規模多機能型居宅介護事業所の一つの役割
赤峯慎太郎	ハートクリニック	事務長	一医療法人の主催する市民公開講座「介護医療連携懇話会」の意義を検証する
黒瀬義央	社会福祉法人 野の花会 介護老人福祉施設 アルデンハイム加世田	生活相談員	トータル支援パスで思いをつなぐ～地域包括ケアシステムの中核施設を目指して～
横山啓明	特定医療法人フェニックス フェニックス総合クリニック デイケアセンターA	作業療法士	新たなイノベーション「介護予防・日常生活支援総合事業」を考える～ 2025 年、本人家族の新たな心構え（覚悟）に向けて～
斎藤忠雄	斎藤内科クリニック	医師	地域包括ケアシステムを地方自治の規範的統合と看護小規模多機能型居宅介護で支える
三原千春	医療法人 あすか あすか居宅介護支援事業所	介護支援専門員	住み慣れた地域で「自分らしく生きる」を支える
原田俊樹	鹿屋長寿園		地域課題解決に向けた社会福祉法人恵仁会の取り組み～ドライブサロン実践報告～
中島麻衣子	医療法人あづま会 高齢者相談センター 東		診療所が委託された地域包括支援センター

08. 新しい試み

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
柳沢江美子	社会福祉法人 泰ダイアライブ福祉会 特別介護老人ホーム あぞみの里	介護福祉士	ケアの変革を担う 20 代の挑戦とその後について～目指せ！育成スパイラル～
大見まゆみ	生活介護サービス株式会社 介護付有料老人ホーム ユーカリ小金原	介護職員	外国人留学生の施設での就労と苦労～感動と共感を共に～
中堀千賀子	医療法人あいち診療会 あいち診療所野並	看護師	企業健診後のフォローアップへの取り組み・法人内の健診後の職員への看護介入から見たこと
中土井亜希子	株式会社ソリキノ 介護事業統括部 デイサービスグリーン上総町	管理者	通所介護における手芸療法での取り組みと実践事例 ～ADL 及び I ADL 向上の実例とともに
中島真治	医療法人永原診療会 千本診療所	言語聴覚士	「薄皮アンパンが食べたい!!」～多職種連携により重度障害者居宅男性の望みである終口摂取が可能となったケース～
野村秀樹	医療法人あいち診療会 あいち診療所野並	医師	在宅患者に対する QOL(Quality of Life) 評価の試み
左高裕隆	特定医療法人フェニックス フェニックス総合クリニック	作業療法士	本格的医療介護機能分化が始まっている～在宅復帰率からみたフェニックスグループの取り組み～
林より子	医療法人 坂崎ハート会 さかなしハートクリニック	看護師	熊本地震における在宅療養支援診療所としての取り組み ー在宅介護避難の受け入れ方ー
洲上 駿	社会福祉法人 野の花会 老人保健施設 ラポール吉井	介護職員	HAL 介護支援用ロボット導入による効果～負担の少ない介護を目指して介護テクノロジーの育成～
本岡幸子	社会福祉法人 野の花会 老人保健施設 ラポール吉井	介護福祉士	根拠に基づいた自立支援介護へのアプローチ～竹内理論「水分・食事・運動・排泄」の取り組み～
吉田美紀子	医療法人社団郡会	介護支援専門員	“自分の居場所”～新しいチャレンジを見つける事は生きる力～
近藤真理子	医療法人 あいち診療会 滝の水憩いの学校	介護職	入浴に相応の評価を
笹元慶仁	ファミリークリニックネリヤ	事務職	事務職の同行による複数訪問看護～住み慣れた我が家で最期まで生き続けるための支援の強化～
渡辺麻衣子	(医) 萌気会 萌気園浦佐有料老人ホーム「ハイマート・ハイム豊田」	介護職員	夜勤中に仮眠をとりましよう
飯島恵子	NPO 法人ゆいの里	コミュニティ・ケアマネジャー	なじみの関係、顔の見えるおつき合い ～ケアされる人から支え合う人へ～
蔵元隆史	霧島市 介護老人保健施設アメニティ国分	介護福祉士	「集」と「個」～パラレルな場を用いたリハビリテーションの可能性～

09. 薬と生活

筆頭著者	筆頭著者の所属先	筆頭著者の職種	演題名
鶴野健剛	ブレイン株式会社 市成の薬局	薬剤師	認知症患者さんの服薬管理法と認知症治療薬の副作用について 当薬局の実践と課題
菅谷優美	友愛薬局小原店	薬剤師	小児在宅医療の実践
部坂理恵子	有限会社あんのメディカル おごおり薬局	薬剤師	後発医薬品使用促進に向けての取り組み～使用率 75%をめざして～
川畑昌浩	公益社団法人鹿児島県薬剤師会 地域医療委員会	薬剤師	腎機能を考慮した高齢者に対する薬物治療
赤池 剛	鹿児島県薬剤師会 地域医療委員会	薬剤師	残薬整理によるアドヒアランス向上の事例

事務局からのお願い

今回、抄録集は当日配布する事となりました。

実践交流会、シンポジウムの情報は当日まで皆様のお手元には届かない形になります。当日の状況についての情報を少しでも早くお届けする意味で今回の風の萌は「鹿児島大会最新情報」として編集することにいたしました。それまではホームページ、メルマガ、そしてこの風の萌等から最新情報をお知らせ致します。特にホームページは当日まで常に最新情報に更新致しますので宜しくお願いします。大会までの短い期間ではありますが、是非最新情報としてご利用頂くようお願い申し上げます。

注「抄録集の引き渡しに関しては引換券を後日発行致しますので、当日ご持参して下さい。」

東京事務局では情報収集・発信事業の一環として介護等に関わる各種情報の分類・整理・発信を計画しております。

各々の診療所・施設で発行している会報・情報誌・広報誌等を可能であれば東京事務局へ送付して頂きたいと考えています。全国から寄せられた情報を基に、会員の皆様方へより質の高い情報発信ができるものと考えます。なお、その内容の取り扱いに関し個人情報等には十分な配慮を致します。

お送りいただく場合、印刷物、電子的データいずれでも構いません、下記住所及びメールアドレスにお願いいたします。購読料等の必要がある場合は事前にお知らせください。

ご質問等ありましたら、電話、FAX 又はメールいずれでも結構です。

〒112-0014 東京都文京区関口 1-19-2 第2弥助ビル 5F
株式会社キャナル・コンピューター・プリント内
NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 東京事務局
TEL: 03-3235-7906 (平日 10:00 ~ 16:00) FAX: 03-3235-4880
e-mail: tokyo-jimukyoku@home-care.ne.jp

活動予定

全国 の集い in 鹿児島	平成 28 年 9 月 18 日・ 19 日 場所 … 鹿児島
会議 日程	平成 28 年 9 月 19 日 場所 … 鹿児島
平成 28 年 度 第 一 回 理 事 会	平成 28 年 9 月 19 日 場所 … 鹿児島
平成 28 年 度 第 二 回 理 事 会	平成 28 年 2 月 26 日 場所 … 東京
平成 28 年 度 第 三 回 理 事 会	平成 28 年 5 月 28 日 場所 … 東京
平成 28 年 度 第 四 回 理 事 会	平成 29 年 8 月 27 日 場所 … 東京

お知らせ

風の萌を今回は横組みのスタイルとさせて頂きました。前は従来縦組みスタイルは継承した形でのカラー化とさせて頂きました。今後は今号の形で発行したいと考えておりますが、コアメンバーの方々からのご意見も頂きながらスタイル、掲載内容を含め、更なる検討を進めていきたいと考えております。

風の萌

2016年9月1日発行(第035号)

頒 価: 1部50円 会員は無料

◆ 発行 特定非営利活動法人(NPO)
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

TEL: 052-848-8800 FAX: 052-848-8801

http://www.home-care.ne.jp/net/ E-mail: zenkokunet@home-care.ne.jp

〒458-0007 愛知県名古屋市長区菟山3-119 カーサフクシマC-32号

◆ 編集「風の萌」編集委員

編集後記

いよいよ全国大会の季節がやってきます。大会直前という事で今回は実践交流会の特集号となっております。全国大会のガイドとして皆様にご利用頂ければと思っております。

K.I